

令和5年 第1回北九州市立図書館協議会 会議録

- 1 会議名 令和5年 第1回北九州市立図書館協議会
- 2 議題
  - 1 北九州市立図書館の現状について
  - 2 その他
    - ① 門司港地域複合公共施設の実施設の事業者決定について
    - ② 前回協議会での質問事項について
- 3 開催日時 令和5年2月8日(水) 14時00分～16時00分
- 4 開催場所 北九州市立子ども図書館2階大研修室
- 5 出席者氏名
  - (1) 委員(会長他10名、欠席委員4名)

北九州市立大学図書館長	中尾 泰士(会長)
北九州市学校図書館協議会副会長	本田 壽志
北九州市学校図書館協議会会長	上満 佳子
北九州市PTA協議会副会長	福田 百合加
北九州青年会議所理事	末吉 智久美
公募委員	山中 啓稔
北九州市社会教育委員	宮本 和代
北九州市婦人団体協議会監査	吉松 喜美子
北九州市障害福祉団体連絡協議会会長	林 芳江
九州国際大学図書館長	山口 秋義
公募委員	鈴木 研
  - (2) 事務局(中央図書館長他7名)

中央図書館長	柴田 憲志
中央図書館副館長、子ども図書館長	金子 二康
中央図書館奉仕課長	福田 淳司
中央図書館運営企画課庶務係長	内徳 誠治
中央図書館運営企画課デジタル企画係長	佐藤 孝徳
中央図書館奉仕課奉仕係長	堀尾 節子
中央図書館奉仕課資料係長	善家 三知代
中央図書館子ども図書館企画係長	高尾 智之

6 傍聴者 1名

7 会議次第

委員紹介

新会長選出

議事（報告、質疑応答）

館内見学

8 会議経過（発言内容要旨）

**【委員紹介】**

事務局より委員の紹介

**【新会長選出】**

北九州市立図書館規則第17条に基づき、会長の選出を行う。委員からの推薦により決定。

会長 北九州市立大学図書館長 中尾 泰士

**【議事】**

**1 北九州市立図書館の現状について**

「北九州市立図書館の現状について」事務局から説明。

（委員）

指定管理館は基本的に各区ごとに置かれていると言われたが、八幡だけ分館が東区と西区で混同しているのはなぜか。

（事務局）

八幡西図書館は平成24年度に建設されたので、折尾分館、八幡南分館については、これ以前から存在する八幡図書館の分館として位置づけされている。

（委員）

八幡西図書館の指定管理料だけが突出した金額になっている。これは委託の条件として何か特別に挙げられているのか。

（事務局）

八幡西図書館はPFI事業として建設されており、指定管理料については純粋な運営費だけではなく建設費用の償還費が含まれている。このことにより金額が突出したものとなり、他の指定管理料と性質が異なるため、区別をつける意味で予算も別立てしている。

(委員)

新市長就任の際に、「次世代につながるものは伸ばしていく」とのコメントがあった。図書館こそ次世代に向けて大事な施設であると思っている。

また、政府も賃金アップを要請している中で、指定管理料に含まれる人件費の部分については上げる意義があるのではないか。予算確保について、事務局には努力していただきたい。

(事務局)

指定管理の目的は大きく2つありまして、1つは民間企業のノウハウを生かすというものであり、イベントや講座等も指定管理館の方が盛んである。先日も八幡図書館が「図書館を使った調べる学習コンクール」で文部科学大臣賞を受賞している。

もう1つはコスト削減であります。ここ最近はメリットがやや薄くなってきている。指定管理料に関しては事務局も内容に即した予算を確保すべきであると考えており、努力して参りたい。

(委員)

読み聞かせボランティア養成講座は、ボランティアの方から大変好評であると聞いている。関連する読み聞かせボランティアバンク事業について、グループだけでなく、個人でも登録は可能か。

(事務局)

グループでの登録が大半だが、個人でも可能である。

(委員)

郵送貸出サービスについて、対象が身体障害、知的障害となっているが、精神障害についての取り扱いはどうなっているのか。

(事務局)

精神障害については、郵送貸出サービスの対象には含まれていない。ただし、他の図書館を調べると含まれている図書館も存在する。図書館バリアフリー法の制定もあるので、対象拡充について検討して参りたい。

(委員)

館長挨拶の中で、図書館について居場所としてのニーズが高くなっているというお話があった。その中で障害がある者への理解をどうしていくのか、配慮していただくことをお願いしたい。

もし、障害理解についての研修等があれば、団体として協力したい。

(事務局)

障害のある方の居場所づくりということで、すでに障害者団体の方と事業を進めている。今後のご意見や研修等でのご協力をいただきたい。

(委員)

図書購入予算について、年報では年々減少傾向であったが、今回の配布資料の令和4年度分は予算が増加している。これは何か理由があるのか。

(事務局)

小倉南図書館、子ども図書館と新設された図書館については、別途、図書購入予算を持っていたが、これが令和3年度で終了となり、既存の図書購入予算の中に組み込まれた。年報掲載の同事業名の金額と比較すると増加しているが、図書購入予算全体で見るとやはり減少している。

(委員)

他の自治体と比べて北九州市の図書購入予算はどうなっているのか。

(事務局)

比較の目安として、人口1人あたりの令和3年度図書購入決算見込(視聴覚資料含む。逐次刊行物除く。)でいいますと、政令指定都市20都市中、17番目と非常に厳しい状況となっている。

**【議事】**

## **2、その他**

「① 門司港地域複合公共施設の実施設設計の事業者決定について」事務局から説明

(委員)

門司図書館の移転先は、門司港駅のすぐ近くということで地理的優位性がある。また市内の観光拠点でもあり、歴史的な建物も多くある。この観光、歴史の特性を書籍面でサポートするなど、ソフト面での施策を検討していただきたい。

(事務局)

門司図書館にはその歴史から、港湾・海事などの郷土資料が多く所蔵されており、この資料をどう生かすか、どう展示するか、これが一つの課題である。

また、町のにぎわいづくりも一つのポイントであり、立地を生かして多くの人に足を運んでいただけるような施設にするため、限られたスペースをどう生かすか、皆様の意見を伺いながら検討して参りたい。

(委員)

観光部局と連携するのもいいのではないか。観光誌に掲載されるような魅力ある館づくりを期待している。

(事務局)

門司区のまちづくりを行う区役所も同施設に入居する。こちらとも連携して、歴史や文化といった地域特性を生かした館にしていきたい。

また門司港駅に近く、新施設の1階に入居予定ですので、皆様が気軽に立ち寄れる施設にしたいと思っている。

**【議事】**

## **2、その他**

「② 前回協議会での質問事項について」事務局から説明

(委員)

意見なし

**【館内見学】**

委員、事務局が2班に分かれ、館内見学を実施